



2025 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 ALiNK インターネット
代表者名 代表取締役社長 池田 洋人
(コード：7077、グロース市場)
問合せ先 執行役員コーポレート部長 小幡真幹
(TEL. 03-6907-1508)

第 2 四半期（中間期）業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 4 月 14 日に公表いたしました 2026 年 2 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたこと、また、これに伴い 2026 年 2 月期の通期業績予想を修正いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績について

(1) 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2025 年 3 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	498	20	30	8	4.43
実績値 (B)	509	△49	△28	△57	△31.63
増減額 (B－A)	11	△69	△58	△65	
増減率 (%)	2.4	－	－	－	
(参考) 前期実績 (2025 年 2 月期中間)	452	47	56	63	35.38

(2) 通期連結業績予想数値の修正（2025 年 3 月 1 日～2026 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,016	19	41	1	0.55
今回修正予想 (B)	962	△132	△103	△79	△43.72
増減額 (B－A)	△54	△151	△144	△80	
増減率 (%)	△5.3	－	－	－	
(参考) 前期実績 (2025 年 2 月期通期)	888	43	62	57	31.73

2. 個別業績について

(1) 第2四半期(中間期) 個別業績予想と実績値との差異(2025年3月1日～2025年8月31日)

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	403	71	49	27.12
実績値 (B)	382	58	29	16.54
増減額 (B-A)	△20	△12	△19	
増減率 (%)	△5.2	△17.9	△39.0	
(参考) 前期実績 (2025年2月期中間)	406	89	96	53.78

(2) 通期個別業績予想数値の修正(2025年3月1日～2026年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	808	126	87	48.15
今回修正予想 (B)	721	21	45	24.91
増減額 (B-A)	△87	△105	△42	
増減率 (%)	△10.8	△83.3	△48.3	
(参考) 前期実績 (2025年2月期通期)	741	136	132	73.16

3. 差異及び修正の理由

第2四半期個別業績予想と実績値との差異については、tenki.jp事業において、降水量の減少(主要5大都市の降水量は前年同期比67.8%)に加え、主要検索エンジンでの検索ランキング低下により、PVは28億(前年同期比80.7%)となったことを主要因として、売上高が当初の業績予想を下回る結果となりました。

さらにIPプロデュース事業におけるソフトウェアの開発費について、当初業績予想においてはソフトウェアとして計上するものとして計画しておりましたが、当該開発費についてはソフトウェアではなく研究開発費として費用処理することが適切であったため、当初業績予想より販売費及び一般管理費が増加することとなったことによるものであります。

通期個別業績予想の修正については、第3四半期以降も引き続きtenki.jp事業が当初予想を下回る見込みとなっています。主因はSEOおよびAI(GEO)検索対策の効果が、検索エンジン側の反映タイミングに左右される点にあります。そのため、下期も上期と同様の減収傾向が続くと想定しております。

また、第2四半期と同様、当初業績予想においてはソフトウェアでの計上を計画していたソフトウェア開発費を費用計上する予定であります。

tenki.jp事業については現状当初予想を下回る見込みとなっておりますが、SEOおよびAI(GEO)対策の実施、メンバーシップの開拓、登山天気のパイラルマーケティングの拡充という方策を講じていく予定です。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。

以上